

子ども時代でしか身につけられない
自然への気づきと感性を
育む活動を行っています。

森の探検隊

ともだちと森で遊ぼう
森の中で自然を探そう
森を歩いて見て触って
夏を感じよう
ときには目を閉じて
秋を聴こう
風の匂いをかいで
冬を探そう

2015年度からはじめた新しい「次世代育成」の活動『森の探検隊』、今年度も幼稚園年長8名、小学校2年生8名のこどもたちは、広島県北の安芸太田町にある井仁地区の棚田の周辺で元気に活動を行いました。ゴールデンエイジと呼ばれる感性豊かなこの年齢の子どもたち、違う季節で全身で感じ、それを自由に作品に表現しました。



[2016年度活動概要]

夏／8月21日 夏を探そう

～嫌いだっただピーマンを生でかじった



秋／9月25日 秋を探そう

～稲刈りで泥んこ、楽しかったね



冬／11月27日 冬を探そう

～初めての焚き火は、熱く、煙たかった



井仁の棚田が“心のふるさと”に…



安芸太田町
地域おこし協力隊
友松 裕希 様

1999年に、井仁の棚田が「日本の棚田百選」に選ばれてから、色々な人が井仁のファンになり、様々な活動で棚田を盛り上げてくれています。その中でも、「森の探検隊」は、子ども達が主体となって活動する大切な取り組みのひとつです。

最近の子どもたちを見ていると、便利なものに囲まれてしまい、自然の中で育まれる、生きていく上で必要なことを学ぶ機会が減ってきているような気がします。井仁は、四季折々の自然、伝統や文化、棚田を守り続けてきた人がいる、発見に満ちた場所です。人と自然の営みでできた「場所」、同じ時を過ごす「仲間」、感性が研ぎ澄まされている子どもの「時代」が合わさることによって、一生の記憶に残る体験や発見が生まれるのではないのでしょうか。

この「森の探検隊」を経験した子ども達が成長して、ふと井仁の棚田の風景を懐かしみ、あの時に感じたものを思い出してくれる“心のふるさと”のような場所になってくれたらと願っています。

協力／井仁棚田交流館
廿日市市6幼稚園
活動実施／スポーツメディア株式会社
東雲スイミングクラブ



スポーツメディア(株)
東雲スイミングクラブ
福島 真吾

奥さんと5名の子どもたち＋
ベル君、家族でも毎日「森の
探検隊」をやっています。

日々の生活の中で起こる事象を学びに結びつける力。そこに他者との関係性が介在することでより主体性を発揮し何かを生み出す力。子ども時代にどれだけ感じ、気づき、チャレンジし、経験していくかが、「生きていく力」に繋がっていくのだと私は思う。「森の探検隊」はそんな「外への探検」が、同時に自分自身の「内への探検」に繋がっている活動である。我が家もその考え方を生活の随所に活用しつつ、今日も家族と痛快に過ごしている。

なお、2017年度より、「森の探検隊」の活動は、グループ子会社のスポーツメディア(株)で主催、実施することになりました。